

近郊版



早咲きのバラ
太田典子
マール・グルッペ
ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
春日井支局 〒486-0844
春日井市鳥居松町3-60
0568-81-2036 Fax81-2797
犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530
瀬戸支局
0561-82-3121 Fax82-5316
一宮総局
0586-72-4545 Fax72-5035
江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

紙面に載ったご家族の
写真、お気に入りの
風景写真を記念に
いかがですか?
記事付き加工文字入れも
できます。詳しくは
お近くの新聞販売店まで。

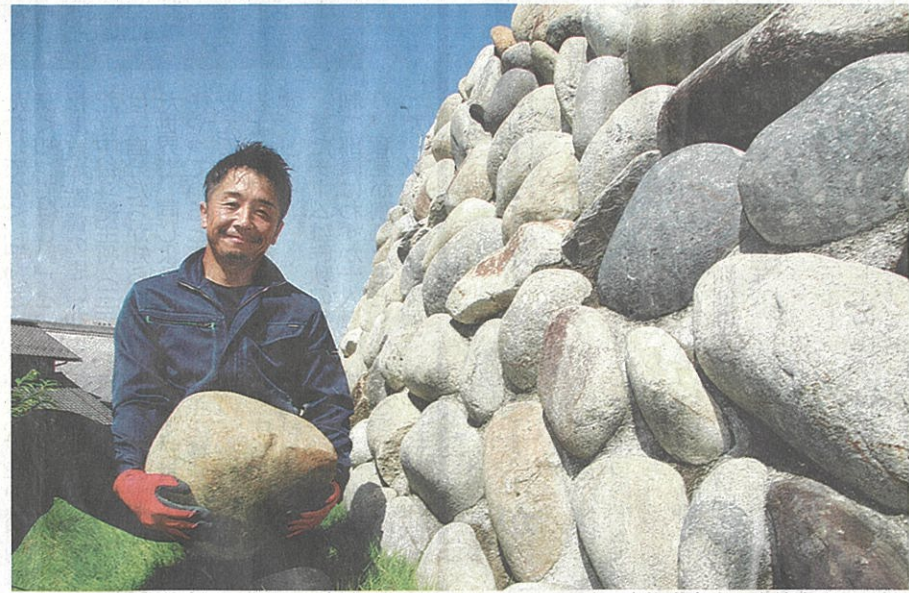
緊急医
16日(春日井) 歯科(午前中)
内科、小児科、外科、市総合保健医
療センター(鷹来町) 3060
【小牧】 歯科(午前中) 内科、小
児科、外科、市休日急病診療所(常
普請) (75) 2070
【犬山】 市休日急病診療所(内科、
外科) 五郎丸東0568(82)81

匠

「絶滅の危機を乗り越え
る!1000年継承されて
いるSDGsな土木技術」
動画投稿サイト「ユーチ
ューブ」で昨年末に公開さ
れた動画のタイトルだ。視
聴すると、木曾川の清流を
背景に、小牧市池之内の造
園職人仲根弘志郎さん(49)
が、水流で磨かれた丸い
石で石垣を造る「木曾玉石
積み」について解説を始め
た。

小牧・木曾玉石積み職人

仲根 弘志郎さん(49)



石垣の前で玉石を抱える仲根さん。重さは約30kgある=小牧市本庄の泉徳寺で

木曾玉石積み 木曾川流域で
採れる玉石を使った石積みの技
法。海拔の低い濃尾平野で水害による
被害を減らすため、土地のかさ上げに
用いられるなどして発展した。隣接す
る石同士に必ず接点があり、現在は見
栄えのために隙間をモルタルで埋める
が、なくても十分な強度を保つ。特徴
的な技法として交互に石を重ねる「網
代積み」、横の列を際立たせる「屋敷
積み」、亀の甲羅状にほぼ隙間なく積む最
高難易度の「亀甲積み」などがある。

仲根さんが手がけた木曾玉石
積みの石垣。上段は昨年につ
造り、色味が違う下段は20年が
経過している=泉徳寺で



伝統の技術 動画で発信

「石のリサイクルも可能
で環境に優しい。次世代の
土木技術として注目されて
もおかしくない」。動画で
仲根さんは、環境保全など
を掲げるSDGs(持続可
能な開発目標)に貢献でき
ると力説。石垣の施工の様
子も交えて、濃尾平野で脈
々と受け継がれてきた伝統
技術を披露した。

増し、江戸時代に施工され
たものが現存し強度も折り
紙付きた。現場の環境によ
ってはコンクリート擁壁よ
りも短い工期、低予算で造
れる。デメリットは強度が
職人の技術次第の点。「丸
い石同士をどう重ねれば頑
丈になるか。石の顔(形)
を見られるようになるには
長い経験が必要」という。

木曾玉石積みを紹介
する動画の一場面

増し、江戸時代に施工され
たものが現存し強度も折り
紙付きた。現場の環境によ
ってはコンクリート擁壁よ
りも短い工期、低予算で造
れる。デメリットは強度が
職人の技術次第の点。「丸
い石同士をどう重ねれば頑
丈になるか。石の顔(形)
を見られるようになるには
長い経験が必要」という。

ただ、仲根さんが知る限
り、今も玉石積みを続ける
のは自社も含めて二社の
み。コンクリート工の普

「信長の天下統一の野望
を支えた技術が、今もこの
地に残っている。それを絶
やすことはできない」。海
外進出の野望を語った後、
決意を込めて言い切った。
(水谷元海)

増し、江戸時代に施工され
たものが現存し強度も折り
紙付きた。現場の環境によ
ってはコンクリート擁壁よ
りも短い工期、低予算で造
れる。デメリットは強度が
職人の技術次第の点。「丸
い石同士をどう重ねれば頑
丈になるか。石の顔(形)
を見られるようになるには
長い経験が必要」という。